

# “ミャンマーの水災害軽減のためのワークショップ”

日時： 2016年2月29日（月）14:00-17:00

会場： 東京大学本郷キャンパス 工学部一号館 16号教室（2階263）

主催： JST-JICA SATREPS「ミャンマーの災害対応力強化システムと産学官連携プラットフォームの構築」水害研究グループ、東京大学大学院工学系研究科  
寄付講座「水循環データ統合の展開学（日本工営）」

参加費： 無料

プログラム（発表、質疑応答は全て英語。通訳なし）

14:00 – 14:05	開会の挨拶：川崎 昭如 / 東京大学 大学院工学系研究科 特任准教授
14:05 – 14:25	「(仮) Integrated flood modeling with Water and Energy Budget-based Distributed Hydrological Model (WEB-DHM) and Rainfall-runoff-inundation (RRI) model」 小池 俊雄 / 東京大学大学院工学系研究科 教授 水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM) センター長
14:25 – 14:40	「Flood analysis and relief measures for Bago River Basin」 Khon Ra / ミャンマー農業灌漑省 灌漑局 (ID) 水文課長
14:40 – 14:55	「Field and numerical study of tidal influences in the lower Bago River」 下園 武範 / 東京大学 大学院工学系研究科 准教授
14:55 – 15:10	「Flood early warning system and flood study for Bago River Basin」 Htay Htay Than / ミャンマー運輸省気象水文局(DMH) 水文課長
15:10 – 15:25	休憩
15:25 – 15:40	「Assessment of projected climate changes over Bago River Basin」 Ralph Allen Acierto / 東京大学 生産技術研究所 特任研究員
15:40 – 15:55	「Development of flood inundation map for Bago River Basin using HEC-HMS and HEC-RAS」 Win Win Zin / ミャンマー・ヤンゴン工科大学 (YTU) 准教授
15:55 – 16:10	「Requirement analysis for flood disaster reduction management in Bago River Basin」 神武 直彦 / 慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科 准教授
16:10 – 17:00	パネルディスカッション：ミャンマーの水災害軽減のための統合的アプローチ 川崎 昭如 (前掲)、上述の発表者

各発表12分、質疑応答3分

参加申込み： 事前登録必要なし  
(可能であれば、事前に東京大学・川崎<kawasaki@hydra.t.u-tokyo.ac.jp>まで  
メールを頂けると助かります)

東京大学 本郷キャンパス 工学部一号館

<[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_04\\_02\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_02_j.html)>

